



上天草市 議会だより

Kamiamakusa-city assembly report EGAO

第60号

2026年

5月15日発行

えがお

教良木河内桜祭り



150周年を迎えた
教良木小学校の児童が、
元気いっぱい踊りを披露

議会広報リニューアル

新しい形で、まちの“今”をお届けします

- 3月定例会の主な審議(ピックアップ)、主な審議結果一覧・・・P1～2
- 一般質問・・・P3～13
- 議会の動き(議会報告会)・・・P14
- 特集・編集後記・・・P15



1 指定管理者の指定（上天草市松島総合運動公園）

高橋議員 現在使用不可の施設も多い中、令和8年度だけ直営とする考えはなかったのか。

答 復旧期間は直営を含めて検討を行ったが、最終的に選定委員会の審査を経て、今回上程した。

何川雅彦議員 復旧の段階で、指定管理委託料が高すぎるのではないか。

答 施設の運営に必要な経費から使用料収入などの歳入見込みを差し引いた分を基準として、人件費の見直しなどを行ったが、最終的に物価高騰や人件費の上昇などを踏まえたうえで、第4期よりも431万円の増額となった。

2 上天草市浸水対策検討業務委託料

補足説明 本業務委託は、令和7年8月豪雨で浸水被害を受けた市内25箇所を対象に、排水解析や対策方法、規模などを検討し、市が実施可能な対策や県事業の対象外地区への対応を検討するものである。停止した排水機場については、県と市が協力して対策を進めており、梅雨時期までのポンプ再稼働と、その後の本格復旧を目指している。本業務は、県の事業とは別枠であり、8月に完了予定だが、梅雨前に完了しなくても、県による排水機場の再稼働や本格復旧には影響しない。

意見（田中辰夫議員） 補足説明は理解したが、現実問題として、市の対応が遅いと思われる。梅雨も近いので、県の排水機場の復旧事業は、スピードアップしていただき、遅れることのないようお願いする。

3 上天草市管内中学校屋内運動場空調改修設計業務委託料

北垣議員 設計業務の対象校数と、今後の整備スケジュールは。

答 中学校5校すべてを対象に、令和9年度に空調設備工事を実施予定。あわせて小学校体育館の設計を行い、令和10年度以降、順次整備を進める。



▲龍ヶ岳中学校体育館

4 地域子育て支援拠点事業委託料

田中万里議員 本市が運営を委託している5施設における直近の利用状況および延べ人数は。

答 令和4年度は、コロナ禍による利用控えが見られたものの、その後は回復している状況。

（単位：人）

施設名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (見込み)
いちご広場	1,361	2,028	1,763	1,821
つどいの広場ログ	945	1,130	947	918
ママ応援センター	1,349	2,028	1,354	1,795
松島子育て支援センター	49	180	460	838
姫戸子育て支援センター	122	160	309	71

1 排水機器等設置管理業務委託料

西本議員 排水機器の設置場所は、どのように決定しているのか。

答 樋門が整備されていても時間雨量30ミリ程度で冠水する地域や、排水機場が未設置の地域を基準に選定している。

2 ライドシェア実証運行

北垣議員 実証運行が繁忙期を外れている理由と、本格導入の判断基準は。

答 国の補助事業の採択が5月見込みで、事業者への説明等に時間を要するため、10月開始となる。利用者数や採算性、市の負担などを踏まえ、事業化を判断する。



解説 ライドシェアとは、一般ドライバーが自家用車で乗客を運び運賃を得る仕組みで、日本では安全面や制度上の理由から、タクシー会社関与のもと限定的に導入されています。

高森町 タクシー不足を解消します!! 電話でも! 配車アプリでも!

i-Chan ライドシェア

タクシーが不足する週末などの前乗り車を登録された一般ドライバーが専用車両でカバーします。高森町在住の方はもちろん、観光で町を訪れた方など、どなたでもご利用できます!

対応可能日	金曜日・祝前日
時間帯	18時(午後6時)～24時(午前0時)
土曜日	10時(午前10時)～24時(午前0時)
日曜日・祝日	10時(午前10時)～18時(午後6時)

料金 タクシー料金と同額(申し込み時に料金決定)
 ・配車アプリをご利用⇒キャッシュレス決済のみ
 ・コールセンター(電話)をご利用
 ⇒現金でのお支払いのみ

対応(運行)エリア **高森町全域**
 ただし、居住地・目的地のいずれかが高森町内の場合に限って乗降場所は限定

▲高森町で実証運行されたライドシェア

3 e スポーツ大会

何川雅彦議員 地域活動支援センターにおけるeスポーツの利用状況は、全体として好調なのか。

答 各拠点施設には8月に設置したが、その後の豪雨災害の影響で、しばらく実施が難しい状況であった。その後、介護予防講演会や出前講座などを通して周知を進めた結果、利用者は徐々に増えている。出前講座も16ヶ所139名の参加があり、アンケートでも好評である。

4 事業系生ごみ堆肥化業務委託料

宮下昌子議員 事業系ごみは家庭ごみよりも分別の種類が少なく、焼却ごみが減らない原因である。そこから指導を行っていく必要があるのではないか。

答 一般家庭並みの分別ができれば、必ず減量化は可能である。事業所への指導によって醸成を図り、焼却ごみの減量化につなげていく。

賛否表

主な議案などの賛否について、下記のとおり公表します。

議案番号	議案名	結果	表決数	田 寄 清 勝	柳 本 初 喜	北 垣 洋	井 手 隆 光	何 川 誠	塩 田 真 一	何 川 雅 彦	宮 下 昌 子	西 本 輝 幸	高 橋 健	田 中 万 里	桑 原 千 知	田 中 辰 夫	嶋 元 秀 司	
議案第16号	令和8年度上天草市一般会計予算	可決	13-0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号	指定管理者の指定	可決	13-0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



3月定例会では13名中10名が登壇しました（議長を除く）

一般質問

市政の“ここ”を問う

一般質問とは、議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたず、あるいは報告や説明を求めることをいいます。ここでは、質問と答弁を要約した内容を登壇順（質問順）にお知らせします。

P4	たなか まさと 田中 万里 議員	①熊本天草幹線道路の整備に伴う地域住民への配慮と課題解決 ②小中学校の統廃合計画の進捗状況と本市教育の将来ビジョン ③子育て・教育環境の「オンリーワン」実現と地域経済循環の構築
P5	にしもと てるゆき 西本 輝幸 議員	①松島総合運動公園の復旧スケジュール ②松島地区の排水機場 ③合津地区の排水整備事業 ④梅雨時に応急的に設置してある排水ポンプ
P6	たなか たつお 田中 辰夫 議員	①令和7年8月豪雨災害 ②ごみ対策 ③八代・天草シーライン
P7	なにかわ まさひこ 何川 雅彦 議員	①国の次期無電柱化推進計画を踏まえた本市の対応 ②宇宙時代における事前防災と災害時通信体制の強化 ③上天草市の将来人口と子どもを増やす取組み
P8	やなぎもと はつき 柳本 初喜 議員	①8月豪雨災害における農業者支援 ②市管理河川の土砂撤去の進捗 ③排水機場の復旧状況
P9	みやした しょうこ 宮下 昌子 議員	①キッチンカー ②買い物難民対策 ③施政方針
P10	いでぐち たかみつ 井手口隆光 議員	①行政改革実施計画 ②天草広域連合の新ごみ処理施設整備計画 ③教育
P11	たかはし けん 高橋 健 議員	①本市における観光戦略と交通渋滞 ②豪雨災害後の人口減少と財政への影響 ③市役所の組織
P12	きたがき ひろし 北垣 洋 議員	①地域おこし協力隊の活動実績と定住促進、今後の活用方策 ②学校給食費無償化の実施内容と給食の質確保 ③マンホールカードを活用した新たな観光資源の創出
P13	しおた しんいち 塩田 真一 議員	①排水機場の早期復旧と浸水対策の強化 ②新ごみ処理施設整備事業に関する本市の方針

○白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかったもの。

Q 市道の安全確保と教育の更なる質向上を問う

A 現場(市道)の支障把握と学びの充実を図る

田中万里議員



◀その他の質問は動画をチェック

質問の背景

熊本天草幹線道路の整備は本市の悲願であるが、工事に伴う通行規制が市民生活に支障を及ぼしている。特に通学路の安全性や、大型車の通行困難による物流ルートの遮断、農作物の品質を左右する日照不足など、現場で生じている深刻な不安を解消するため、市の対応を問うた。また、子供たちの学びを最優先した教育環境の整備についても提言した。

熊本天草幹線道路の整備に伴う地域住民への配慮と課題解決

問 市道田端線などの通行止めにより、現状の道幅では4トン車の通行が困難なルートへの迂回を強いられ、物流や生活に支障が出る。どう対応するか。

建設部長 現地の状況は把握している。大型車両が円滑に通行できるよう、離合か所の設置などを県と協議し、生活や経済活動に影響が出ないように努める。

問 市道上新田馬場線(上新田から上小前までの区間)は幅員が狭く、工事車両の往来増に対し保護者の不安が強い。児童生徒の安全をどう確保するか。

建設部長 当該路線への工事用車両の進入を禁止し、代替路として国道から直接進入できるルートを確認することで、通学路の安全確保を最優先に取り組む。

問 橋梁建設による日照不足は花卉農家にとって死活問題だ。事前のデータ計測や補償スキームを確立すべきではないか。

建設部長 完成後に日照障害による減収などの申し出があれば、基準に基づき適切に対応されるよう県と連携し、農家に寄り添った情報提供を行う。



▲熊本天草幹線道路(大矢野道路)イメージ図

小中学校の統廃合計画の進捗状況と本市教育の将来ビジョン

問 本市を「教育特区」と再定義し、小中高一貫教育や特色ある学科創設など、教育の質で選ばれる自治体を目指す考えは。

市長・教育長 教育をまちづくりの中心に据える考えは同じだ。県と連携し、施設整備や小中高連携など多面的な教育環境の充実に努める。

問 ふるさと納税を財源に、所得制限のない保育料無償化や出産祝い金の創設を検討すべきではないか。

健康福祉部長 非常に重要な施策と認識している。人件費高騰や他施策とのバランスを考慮しつつ、時代に沿った支援策を検討していく。

質問を終えて

道路建設や学校統合は単なる箱モノの話ではない。道路は市民の安全性、利便性などを考えての工事推進であり、教育は10年、20年後の子供たちが「上天草で学んでよかった」と胸を張れるための土台づくりである。学校統廃合は、住民の不安に寄り添いつつも、1番に子供たちの学びを最優先とした教育改革を全市一丸となって進めることを強く要望した。



Q 松島総合運動公園の復旧は

A 全体の供用開始は令和10年度から



◀その他の質問は動画をチェック

質問の背景

令和7年8月11日、上天草市としては例のない豪雨に見舞われ、大規模な浸水被害が発生し、甚大な被害を受けた公共施設や地域住民にとって一刻も早い復興を願う気持ちで質問する。

松島総合運動公園の復旧スケジュール

問 令和7年8月の豪雨により、大規模な浸水被害が発生したが、松島総合運動公園内の各施設の復旧方針、進捗状況および今後のスケジュールはどうなっているのか。

教育部長 主な施設の復旧内容については、松島総合センターアロマは内部の原型復旧を行う。陸上競技場は豪雨で走路の土が流出し暗渠（あんきょ）排水に支障が出たため、全天候型走路へ改修を予定している。サッカーコートは、人工芝を一度はぎ、土砂流入による排水詰まりを解消したうえで復旧する。野球場は、内野の再整備や門扉の改修など、テニスコートは今年度中に堆積土砂の撤去や人工芝のブラッシングなどを実施し、令和8年4月の再開を目指して工事中である。子ども広場は3月から開放済みで、全体の供用開始は令和10年を見込むものの、完成した施設から順次開放していく。

松島地区の排水機場の状況と計画

問 松島地区の合津、今泉、後山、阿村の各排水機場の現状と復旧に向けての計画はどうなっているのか。

経済振興部長 現在の状況は、250ミリメートルの仮設ポンプを合津排水機場に10台、今泉排水機場に9台、後山排水機に4台設置している。阿村排水機場は、現在の排水ポンプが稼働するため、仮設ポンプの設置は行っていない。被災した排水ポンプは、令和8年の雨季時期までには現在の排

水ポンプが暫定稼働するように仮復旧工事を施工している。

流量調整の設置計画

問 旧松島町時代から、長年の課題であった合津地区国道沿いの排水路に流量調整用のスライドゲートを設置する計画はないのか。

市長 スライドゲートの設置を急ぎたい。

問 岳本石油の下流のアロマ裏の土砂撤去について、合津交差点下にある樋門付近に排水機場は設置できないのか。

市長 アロマの敷地内にポンプの設置をやりたいと考えている。

豪雨による浸水の予防対策

問 昨年の豪雨災害により、大矢野町3か所、松島町4か所が浸水し、排水ポンプ設置の要望書が2か所から提出されているが、市長の見解は。

市長 今回の浸水被害の原因分析および設置について検討している。



▲松島総合運動公園

質問を終えて

今回の質問は、市民の声を市政に反映するように提案したが、執行部と意見が一致した点もあり、早期復興の実現に向けて期待できる。

Q 今年の梅雨に向けて、ポンプは動くのか

A 5月30日までには、稼働できると思う

田中辰夫議員



◀その他の質問は動画をチェック

質問の背景

令和7年8月の豪雨災害については、半年以上が過ぎ、市民の皆様が今後の暮らしについて、ご心配をしておられる。そのような中、市としてどのような方針をもって今後、行っていくのかを質問した。八代・天草シーラインについては、昨年8月の豪雨災害で国道266号線が、一時土砂災害で寸断された。天草地域にとって、物流・人流に大きな影響を生じた経験を踏まえ、命の道路としてのシーラインの必要性を強く感じ質問した。

令和7年8月豪雨災害

問 豪雨災害から半年が過ぎたが、被災した排水機場のその後の検証と具体的な対策は。

経済振興部長 今回の豪雨では、短時間の集中豪雨と満潮が重なり、排水機場の処理能力を大幅に超える雨水で、かつ、排水機場が浸水して、設備が故障し運転が停止した。被災した排水機場は、県営事業により、今年の梅雨時期までの既存排水ポンプの暫定稼働が可能となるよう、仮復旧工事を発注し冠水被害の最小化を図っているところ。

問 阿村地区国道沿いの排水に関して、せめて浸水に対しての応急処置ができるように、排水ができる環境づくりをして頂きたい。

経済振興部長 仮設ポンプの設置に向けて調査などを行い、対応するところがあれば対応していきたい。

問 松島総合運動公園テニスコートが、本年4月から利用出来るとのことだが本当に可能なのか。また、照明が使えないということだが、利用者にとっては大きな不便となる。

教育部長 予定通り4月1日からの利用再開を見込んでいる。災害補助事業を活用するため、国の災害査定を経て復旧工事の発注となることから、

電気設備の復旧時期は、令和9年度以降になると見込んでいる。



▲阿村排水機場

八代・天草シーライン

問 本年1月18日に八代市で行われた、八代・天草シーライン構想推進大会には、多くの参加者をもって、大いに盛り上がった。当日は、金子国土交通大臣も参加され、このシーラインが一步前に進むことを、この大会で言われた。

市長 八代・天草シーライン構想推進大会には、八代・天草地域で双方から500人を超える多くの方々に参加を頂いた。地域の期待と熱意を強く感じる大変意義深い大会だったと感じている。新年度は、金子大臣がおっしゃられたとおり、次のステージになるだろうと、我々も期待している。こういった計画、状況を踏まえて、引き続き気運の醸成に我々も取り組んでまいりたい。

質問を終えて

市民の安心・安全および上天草市の発展のために、どのような事でこの危機を乗り越えていくのか。それぞれの立場、立ち位置で本当に考え、知恵を出し協力し合い、話し合い、行動することが求められていると思う。がんばろう！上天草！！



Q 災害時の衛星通信導入を どう考えるか

A 実証の中で導入を検討する



◀その他の質問は
動画をチェック

質問の背景

国では、衛星などの新しい技術を使って、防災の力を高めようとしています。昨年の豪雨災害では、上天草市でも一部の地域で通信に影響が出ました。半島と島しょ部を持つ本市では、災害のときに通信をどう確保するかが大事だと考え、質問しました。

令和7年8月豪雨災害

問 本市では、災害のときの通信をどのように確保しているのか。また、固定回線と携帯回線が同時に使えなくなった場合の備えを、十分と考えているのか。

総務部長 市では、災害対策本部や各庁舎の連絡に、固定回線と携帯回線を使っている。これが使えない場合に備えて、各庁舎や支所に衛星電話を配備し、県との連絡には衛星通信回路も整えている。ただし、市民が使う電話や携帯回線は、事業者の復旧に頼っているのが現状である。

問 能登半島地震では、珠洲市や輪島市で衛星通信が活用された事例がある。本市でも衛星通信の導入を検討したことはあるのか。また、スターリンクなどの低軌道衛星通信を、災害対策本部や主要避難所に可搬型設備として配備する考えはないのか。

総務部長 本市では、衛星通信の本格導入にはま

だ至っていないが、昨年8月の豪雨災害時には、国土交通省から機器の貸与を受けた。また、来年度予定されている国の実証実験にエントリーしており、採択されれば、その中で有効性や活用方法を確かめていきたいと考えている。

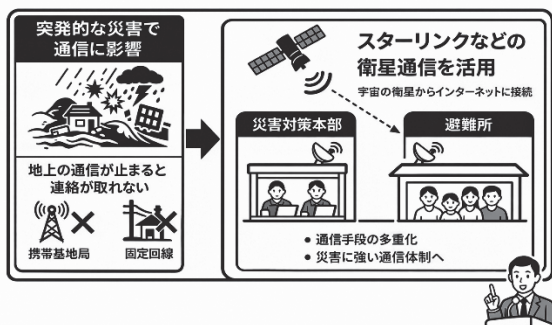
市の将来人口と子どもを増やす取組み

問 市が示す年少人口割合12%を実現するためには、年間出生数をどの程度見込んでいるのか。また、その達成に向けて、どのような取組を進めていくのか。

副市長 年少人口割合12%を保つには、年少人口約2,400人が必要であり、年間出生数は160人程度を見込んでいる。そのために、妊娠期から産後までの支援、保育環境の整備、教育の魅力向上、住宅支援や移住促進など、若い世代に選ばれる地域づくりを進めていく。

問 雇用の確保や所得向上について、人口減少の抑制につながる具体的な数値目標を設定しているのか。また、若年層の流出抑制について、どの程度の改善を見込んでいるのか。

経済振興部長 市では、新規起業者数や事業承継、市内事業者への新卒就職者数、新規船員数などの目標を定めている。また、関係機関と連携した雇用確保や、高校生向けの合同企業説明会などを通して、若者の流出抑制と地元就職率の向上につなげていきたいと考えている。



質問を終えて

災害のときにまず大事なのは、連絡が取れること、情報が入ること、助けを求められることです。その土台となる通信をどう守るかは、本市にとって大切な課題です。昨年の豪雨災害の経験も踏まえ、災害に強い通信体制づくりを進めていく必要があると感じました。

Q 8月豪雨における 農業者支援は

A 被災農家の営農に向けた支援に努める

柳本初喜議員



◀その他の質問は
動画をチェック

質問の背景

8月の豪雨により私自身も田畑の被害に遭い、農地はもちろん農業機械にも被害が出るなど営農の継続に大きな影響を受けている。今回の災害は、農業だけではなく地域の防災の在り方についても多くの課題を残した。

8月豪雨における農業者支援

問 8月豪雨における農地の被害面積および被害金額はどの程度か。

経済振興部長 面積は69ヘクタール、被害金額は7億932万7千円。

問 被災した農家の復旧状況および今後の計画は。

経済振興部長 営農への影響が甚大な箇所から国庫補助事業を活用し順次復旧工事を着手し、早期復旧と再度の被災の防止に取り組んでいく。

問 今期の作付けに影響が出ないための市をはじめ、国、県の支援状況は。

経済振興部長 市では、マンパワー不足で他県より技術職員の派遣予定で、国、県による「大雨営農再開支援事業」を活用する。

問 被害を受けた農業機械の件数及び被害額は。

経済振興部長 128件、2億8541万6千483円。

問 公的支援制度の周知及び活用状況は。

経済振興部長 市のホームページへ掲載および事業説明会の開催。

農業近代化資金、農業経営基盤強化資金（スーパーL）の利子補給を実施予定。

問 機械更新が困難な農家の支援策は。

経済振興部長 可能な範囲で検討する。

市管理河川の土砂撤去の進捗状況

問 今泉地区今泉川は、土砂が堆積している箇所が残っていると聞かす。

建設部長 工事完了河川もあるがその他着手している工事は、令和8年6月までの完了を予定。



▲今泉川

排水機場の復旧状況

問 12月議会後の復旧予定と内容はどうなっているか。

経済振興部長 仮復旧工事で冠水被害の最小化。耐水化・嵩上げなどの被災リスク低減策と暫定稼働の確保を優先する。



質問を終えて

復興・復旧が進む中で、市民の皆様が一刻も早く元に戻ることを願いつつ、できること、できないことがある。排水機場は、梅雨までには必ず復旧できるようにお願いしたい。

雨が降る時の市民の不安を少しでも軽減できるようにしてほしい。



Q 買い物支援に 乗合タクシーの導入を

A 実現性があるのか検討したい



◀その他の質問は
動画をチェック

質問の背景

少子高齢化も若者流出も歯止めがかからず、この現状を憂いている住民も多くいる。その結果、買い物弱者も生まれてしまう。もっと対策を強化すべきではと市の考えを問う。

買い物難民対策

問 買い物弱者対策について、現状をどう認識し、どう進んでいるのか。

健康福祉部長 住民生活の質の確保と地域経済の両面から重要な課題であると認識している。高齢者などへの情報提供、移動販売事業者に対する補助など実施している。

問 高森町で実施しているスクールバスの空き時間を利用した「買い物サロン事業」があるが、導入を提案したい。

教育部長 委託料の増額、安全管理および責任の所在など、制度・安全・財政面において課題が多く、現時点での活用は想定していない。

問 岡山県美作市では、毎週土曜日に地域と商業施設を往復する「乗合タクシー」を運行しているが、導入できないか。

市長 運行経費がかかるので、誰が負担するのか、店舗が協力してくれるのか、現状を踏まえて実現性があるのか一度検討したい。



▲現在運行されている乗合タクシー

人口流出・人口減少に歯止めをかける取組み

問 若者流出問題では、色々事業を実施されているが、もっと強化すべきではないか。

副市長 地元中学生の進学先として選んでもらえるように、上天草高校の魅力化に向け様々な支援を実施している。また、若者を呼び戻す点では、働く場の創出と子育て環境の充実が必要な条件だと思う。

問 上天草高校に限定した『地元就職祝金』は、市外に進学した生徒にも届けられないか。また、看護師、介護士、保育士など賃金も低く、人材不足と言われている。賃金アップを国や県にも働きかけて、ぜひ若者がリターンできるような施策も強化すべきではないか。

市長 人口流出問題は、子育てや経済、教育など色々な分野で地道に積み上げていくしかない。色々ご提案頂いたが、一旦出て行っても、帰って来て貢献いただくという地域まちづくりに努めてまいる。

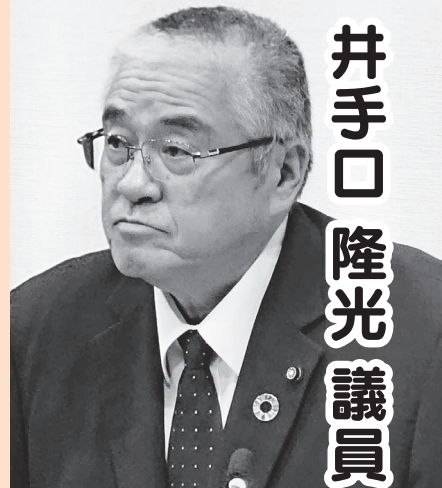


質問を終えて

色々提案もしたが、市の前向きな姿勢は感じられない。たしかに財政的には、地方の自治体だけで取り組めるものでもないの、国や県の強力な支援が必要だ。

Q 行政改革実施計画を 今後どのように進めるか

A 市民によりよい行政サービスを提供



井手口隆光議員



◀その他の質問は
動画をチェック

質問の背景

近年の人件費、物価の高騰を考えると、“あれもこれも”ではなく、“あれかこれか”で予算化しないと行政運営は非常に厳しくなる。無駄を省く行政組織の考え、大規模事業に対する本市の考えを聞いた。

行政改革実施計画

問 本市行政改革実施計画を今後どのように進めていくのか。

副市長 計画中の31の取組項目のうち、定員管理の適正化や重点的かつ効果的な予算編成の実施、組織の見直し、人材確保の推進、デジタル技術を活用した業務改善の推進を最重点化・重点化の取組としたところ。

本市の限りあるリソースを、災害からの復旧・復興および安定的な行政運営に集中的に充てることを目的としたものである。今後も不断に改革を行い、市民の皆様によりよい行政サービスを提供できるよう努めてまいります。

問 近年の人件費や資材の高騰は今後も続く。市職員の定員管理、財政計画の2点で、具体的にどのように進捗しているのか。

総務部長 定員管理基本方針においては、人口減少に伴い、今後、自主財源の不足による人件費抑制が避けられないことを踏まえ、簡素で効率的な行政運営を推進していく。そのうえで、現在の職員実配置数305人を、令和10年度以降、令和18年度を目途に、275人へ削減する計画である。

財政面の取組みとして、新年度の予算編成にあたって部署マネジメント枠を設定し、裁量的経費の一般財源15%削減の取組みを行った。今後も財政課だけではなく、各部署が主体的に全ての事務事業を総点検することで、事業効率化と経費節減の取組みを進めていく必要があると考えている。



▲マイナンバーカードを利用して各種証明書の取得ができるキオスク端末

天草広域連合の新ごみ処理施設整備計画

問 本市が試算した、積算した条件や根拠などをどのように考えたのか。

市民生活部長 ①天草広域連合の枠組みによる処理方法、②市単独による処理方法、③天草域外への持出しによる処理方法の3つの処理方法、10の方式を分析し、それぞれの方式ごとに、施設整備費・運営費、運搬費、最終処分費、国庫交付金、交付税措置などを算定した。また、事業費のほか、各方式における処理の安定性、収集運搬事業者の負担、災害対応面などの観点からの評価も行い、総合的に上天草市に適した処理方式の判断資料としている。



質問を終えて

市長をはじめ、副市長、関係部署の職員皆様が、本市の将来を展望し努力している、計画されていることを感じた。



Q 豪雨後の人口減少と 財政状況は

A 人口流出は限定的も財政の安定と 今後の備えが課題



◀その他の質問は
動画をチェック

質問の背景

令和7年8月の豪雨災害により大きな被害を受けた本市では、人口減少の進行と復旧に伴う財政負担の増大が懸念されている。災害が人口動向や財政運営に及ぼす影響を確認するため、本質問を行った。

豪雨災害後の人口減少と財政への影響

問 令和7年8月の豪雨災害後から令和8年1月末までの人口減少数と減少率について、近年の状況と比較してどのような傾向にあるのか。

市民生活部長 災害発生日である令和7年8月11日時点の人口は2万3,096人であったが、令和8年1月31日現在では2万2,783人となり、313人、率にして1.4%の減少となっている。前年同時期および前々年同時期と比べると、減少幅はやや大きくなっているものの、転出時のアンケート結果では豪雨災害を理由とした転出は1世帯のみであり、現時点では災害が直接転出増加につながっているとは言えない。

意見 表面上の数字には表れにくい不安感が、進学や高齢者の転居などを通じて人口減少を後押ししている可能性がある。

問 本市の財政力指数や経常収支比率、実質公債費比率、財政調整基金残高など、主要な財政指標の推移と今後の見通しは。

総務部長 財政力指数は近年ほぼ横ばいで推移している一方、経常収支比率は上昇傾向にあり、財政の硬直化が進んでいる。また、豪雨災害の復旧

事業により、今後、財政調整基金残高は大きく減少し、財政計画で掲げた目標額を下回る見込みである。

意見 災害復旧は最優先で取り組む必要があるとしつつも、将来世代に過度な負担を残さないため、現状と見通しを市民に分かりやすく示す姿勢が重要である。



質問を終えて

豪雨災害は、本市の人口減少と財政運営の双方に重く影響している。復旧を着実に進めながら、将来を見据えた財政判断と市民への丁寧な情報共有が不可欠であると感じた。



Q ごみ処理変更の理由は

A 事業停滞を避けた



◀その他の質問は
動画をチェック

質問の背景

昨年8月の豪雨災害では、道路や住宅、店舗に大きな浸水被害が生じ、地域には不安や不信感が今も残っている。雨が降るたびに住民が不安を抱える状況が続く中、排水機場の早期復旧と浸水対策の強化について質問した。

排水機場の早期復旧と浸水対策の強化

問 仮復旧後のポンプで対応可能な時間雨量はどの程度か。また、万が一ポンプの能力を超える雨が降った際や、故障時のバックアップ体制は、具体的にどのようになっているのか。

経済振興部長 仮復旧後の排水能力は、被災前の水準を目標としている。建設当時の計画基準雨量は、24時間最大160ミリ、1時間最大30.4ミリである。また、想定を超える雨量や故障に備え、県や九州農政局と連携した排水ポンプ車の迅速な派遣や、民間事業者が保有する排水ポンプの調達準備を進めている。

問 ポンプの増設や電気設備の耐水化、排水能力の向上といった改良復旧を具体的にどの程度盛り込む予定か。また、県営事業として、地域の浸水リスクの実態を設計に反映させるよう、どのように働きかけているのか。

経済振興部長 県営による復旧事業は原形復旧が基本であり、排水ポンプの増設や大容量化は難しい。一方で、制御盤など電気設備のかさ上げ、配線ルートの見直し、建屋の防水性向上など、再度被災防止対策は最大限反映する予定である。また、被災時の状況や浸水リスクを県へ提供し、国や県に対しても要望を行っている。

新ごみ処理施設整備事業に関する上天草市の今後の方針

問 執行部として導き出した方針はどのようなものであったのか。また、その方針について、天草

市、苓北町へ理解してもらうために、どのような努力や協議を行ってきたのか。

市民生活部長 契約解除に伴い、費用負担やごみ処理の在り方についてゼロベースから検討を行い、可燃ごみは広域連合で処理し、不燃ごみなどは外部委託にて処理するとの結論に至った。その方向で、広域連合および天草市、苓北町に説明し、理解を求めてきた。

問 一部離脱する方針から再び参加する方針に変更した経緯はどういうものか。また、不燃ごみ、資源ごみの処理や、中継施設、松島地区清掃センター跡地の位置づけを現在どのように考えているのか。

市長 天草市、苓北町への影響を完全に見通すことが困難で、このまま協議を続ければ事業の進捗に支障を来すおそれがあるため、一旦取下げとしている。現在の想定では、天草市楠浦町のマテリアルリサイクル施設で粗大ごみ、不燃ごみ、資源ごみを処理する予定であるが、保管、中間処理、運搬や中継施設、跡地の位置づけは今後の基本計画の中で検討するとしている。



質問を終えて

排水機場の復旧は急がれるが、ただ元に戻すだけでは十分ではない。単なる原状復旧にとどまらず、よりよい復興につなげるため、今後も市の姿勢を注視し、改善を求めていくことが大切だと感じた。

請願 全会一致で採択

内容 学校給食無償化に向けての給食の量、品質がおそろかにならない為の採択を求める請願

請願者 上天草市の食と健康を考える会 会長 平山 明広 ほか104名

意見 給食費無償化は、子育て支援として大きな意味を持つ一方で、これまで築いてきた学校給食の水準を守り、さらによいものにしていくことも大切である。本請願は、子どもたちの健やかな成長を支える給食を、これからも大切にする市民の率直な思いを示されたものと受け止めている。



議会のうごき

総務産業常任委員会

3月9日（月）にJA あまくさ大矢野支所において、上天草市認定農業者会と「豪雨災害からの復旧状況」をはじめ3つのテーマで議会報告会を開催しました。

まず、災害からの復旧状況の説明、議会活動や視察で訪れた久留米市での研修成果など委員長から報告があり、意見交換では、参加者から令和7年8月豪雨災害の初期対応に対する意見や小規模被害への支援を求める要望など活発な発言がありました。

また、災害に強い農業を目指すためには、団地化や農作業道路の整備などが必要であるとの提案いただきました。

このような意見交換を経て、委員会としては、今後も現状把握に努めながら調査を重ね、政策提言につなげていきます。



文教厚生常任委員会

3月6日（金）に上天草市社会福祉協会との議会報告会を開催しました。

昨年8月の豪雨災害の際、本市で初めて開設された災害ボランティアセンターについて、開設の経緯や活動の流れ、運営上の課題などの説明を受けました。

意見交換では、災害者支援のあり方や、今後の災害に備えた連携体制の充実について意見が交わされ、地域で支え合う仕組みの重要性を改めて認識する機会となりました。



このたび、市議会では議会広報紙のリニューアルを行いました。これまでの紙面については、「内容が難しい」「文字が多くて読みづらい」といったご意見を踏まえ、より多くの市民の皆様に関心を持っていただけるよう見直しを進めてまいりました。

今回のリニューアルでは、「読みやすさ」を重視し、文章の簡潔化や見出し、レイアウトの工夫を行い、情報が伝わりやすい紙面づくりに努めています。

さらに、議員が議会において行政のチェックや政策提言を行い、市民の要望を伝える大切な場である「一般質問」については、議員一人につき1ページを設けました。それぞれの質問について、「なぜこの質問を行ったのか」という背景や、質問を終えての所感もあわせて掲載しています。

今後も、市民の皆様にとって分かりやすく身近な議会広報となるよう、改善を重ねてまいります。ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。(北垣洋)



▲過去の議会広報

議会広報に関する読者アンケートを実施

皆さんの声をお聞かせください。

右のQRコードから簡単に回答できます。

はがきで回答する場合は、以下の質問を記入し、はがきに貼り付けて郵送してください。

宛先 ㊟869-3692 熊本県上天草市大矢野町上1514



-----キリトリ線-----

問1 議会だよりを読む頻度はどの程度ですか？
①毎号読む ②大体読む ③たまに読む
④ほとんど読まない

問2 議会だよりのリニューアルは、全体的にどの程度満足していますか？
☆ ☆ ☆ ☆ ☆

問3 広報で読みたい内容(情報)は何ですか？
トピック(条例、予算、議案質疑など)、陳情・
請願、人事、一般質問、議会のうごき、次
回の議会日程

問4 広報で取り上げてほしい情報(テーマ)があれば教えてください。

[]

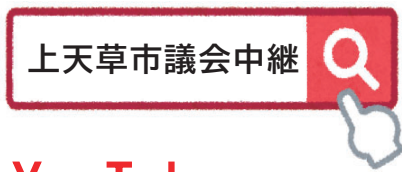
問5 年代を教えてください。
19歳以下、20代、30代、40代、50代、60代、
70代以上

問6 ご意見、ご感想をお聞かせください。

次回定例会は

6月1日(月) 開会予定

(日程は変更になる場合があります)
ネット中継も視聴できます



YouTube で公開

編集後記

新緑が目には鮮やかな季節となりました。昨年8月の豪雨災害から9か月が過ぎ、まちの景色も少しずつ変わってきたように感じます。再開した店舗や青々とした田んぼを見ると、前へ進む力をもらおうと思います。一方で、暮らしやなりわいの再建に時間を要している現状もあります。復旧に関わるすべての皆様へ感謝を込めて、これからも地域の歩みを見つめ、声を伝えていきたいと思ひます。小さな回復の積み重ねが、やがて大きな復興につながることを願ひながら、毎号お届けします。読者の皆様とともに、歩幅を合わせて。

(柳本 初喜)